



前期前半終わりの会・プール納めの会

7月17日（金）、前期前半終わりの会・プール納めの会を行いました。会では、前期前半や、水泳の学習で頑張ったことを、各学年代表の児童が発表しました。「クラスみんなで協力してできるようになった」「漢字練習を頑張った」「委員会活動を頑張った」「〇〇m泳げるようになった」……などと、仲間と協力しながら頑張ったこと、目標達成できたことなどを発表しました。



8月26日（水）から前期後半が始まります。前期後半は、前期の学習のまとめを行ったり、音楽発表会の練習が始まったりと、とても忙しくなりそうです。みんなで力を合わせて乗り越えていきたいです。

こころの授業 ～かけがえのない命を守るために～

7月15日（水）、5年生で「こころの授業」を行いました。これは、東広島市の小学校5年生が令和6年度より行っているものです。第5学年という学年は、思春期に差し掛かり、心も体も大きく成長する大切な時期です。また、よりよい人間関係を高める重要な時期でもあります。そこで、「生きる力を育む」ことを目的に実施するのが、この「こころの授業」です。授業では、人間関係づくりの基本である次の3つについて学びました。

- ① 挨拶、「ありがとう」の大切さ
- ② 自分のイライラなどの負の感情との付き合い方
- ③ 関係を深めるための相手へのポジティブな言葉かけ

おはよう

ありがとう。

〇〇さんは、いつも友達に親切だね。



授業では、挨拶や遊びの場面等での良い例・悪い例を教師のロールプレイを見て、友達と仲良くなるためのコミュニケーションのコツや、怒りやイライラとの付き合い方について考えました。この授業を通して、5年生の子供たちは、「仲良くなるコツ『おはよう』『ありがとう』『いいところ見つけ』をしっかりと相手に伝える」「イライラした時には、深呼吸してから自分の気持ちを伝える」ということを学びました。

私たち教職員も、今回の授業で子供たちが学んだ「挨拶」「ありがとう」「良いところ見つけ」「深呼吸」などの内容や言葉を学校生活の中で常に意識しながら日々の教育活動を行っていきたいと思います。

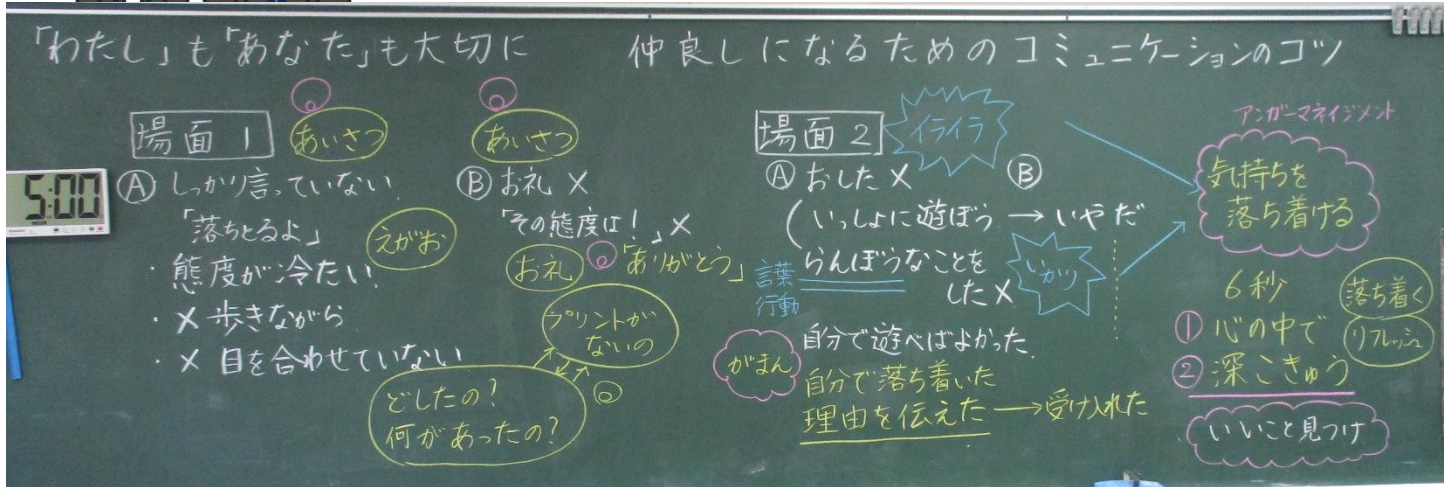
深呼吸で気持ちを整えて……



さっきは、〇〇さんの気持ちも考えずに、すぐに怒ってしまって、ごめんね。本当は、〇〇な気持ちだったんだよ。



学校生活の中で、「一人一が大切な存在である」ということを伝えていきたいです。



【こころの授業を終えて ～5年生児童の感想から～】

- ・イライラしたり気持ちが落ち着かなかったりする時には、6秒深呼吸をして落ち着こうと思いました。
- ・アンガーマネジメントをして、心を落ち着かせるように頑張りたいです。
- ・これからは、優しい言葉を使いたいと思いました。
- ・怒りに任せるのではなく、怒りをコントロールしてきちんと理由を伝えて学校生活を送りたいです。
- ・すぐに暴力を振るわず、自分の心を落ち着かせて言葉を発したらよいと思いました。
- ・「拾ってくれてありがとう。」と言われて、拾った自分も嬉しかったけれど、拾われた方も嬉しかったと思います。

平和学習 ～戦後81年 広島の願い～

本日の全校登校日には、「平和学習」を行いました。まず、全校集会で、「アオギリの歌」を歌ったり、代表児童が参加した「平和バス」での感想を聞いたりしました。その後、各教室で、戦争や原爆についての絵本や映像等を見て、学年の実態に合わせた平和学習を行い、明日で原爆が投下されてから81年となる戦争について、考えました。



全校集会で歌った「アオギリの歌」の最後の歌詞「**広島**のねがいは **ただひとつ**。せかい中のみんなの**明るい笑顔**」にあるように、平和な世の中を願って、まず身近なところから行動していけるようになりたいですね。

入野駅前・河内アリーナ清掃～ありがとうございました～



7月12日(日)、入野駅前、河内アリーナの清掃に暑い中にもかかわらず、多数ご参加くださりありがとうございました。入野駅前清掃には、河内中学校の生徒さんも大勢参加していました。みんなで地域を清掃し、暮らしやすい環境を保つのはとても大切なことだと感じました。